

# 「科学プレゼンテーション」シラバス

2018年度版

## 1. 授業の目標

研究結果のまとめ方、プレゼンテーション法、日本語および英語の論文の書き方についてノウハウを講義する。実際の研究結果について英語のプレゼンテーションを作成し、発表と質疑応答を行う。

## 2. 授業日程

月/日	曜日	時限	内 容	担当	備考
12/5	水	2	イントロダクション 上手な日本語文章の書き方（基本編）講義	中山	
12/7	金	2	上手な科学英語論文の書き方（基本編）講義	中山	
12/19	金	2	よいプレゼンテーション法（基本編）講義、課題提示	中山	
1/9	水	2	よいプレゼンテーション法（実践編）1 発表、質疑応答	中山 芳賀	
1/11	金	2	よいプレゼンテーション法（実践編）2 発表、質疑応答	中山 芳賀	
1/16	水	2	よいプレゼンテーション法（実践編）3 発表、質疑応答	中山 芳賀	
1/18	金	2	よいプレゼンテーション法（実践編）4 発表、質疑応答	中山 芳賀	

2018.11.12 現在

## 3. 担当教員

中山 裕之 教授

VMC, 4F Rm. 401 Ext. 25400 anakaya@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

芳賀 猛 准教授

VMC, 4F Rm. 409 Ext. 27573 ahaga@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

## 4. 成績評価

出席と課題への取り組み態度を評価して成績とする。

## 5. 注意事項など

- 1) 授業時間厳守
- 2) 基本編は各テーマについての講義
- 3) 実践編はプレゼンテーションを作成、発表し、質疑応答
- 4) 基本編で用いたプレゼンテーションは獣医病理学研究室の website (<http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/byouri/>) からダウンロード可能

## 6. 課題

- 卒業研究のテーマまたは最近読んだ科学論文の内容について、研究の背景、目的、研究方法、成果と考察をまとめて、英語でプレゼンテーションを作成する。
- プレゼンテーションのやり方の詳細は 12 月 19 日に連絡する。発表時間は 5 分、質疑応答 3 分。その後互いに講評を行う。
- 発表と質疑応答は日本語でも可

## 7. 参考図書

- 1) 「文章力の基本 -簡単だけど、だれも教えてくれない77のテクニック」  
阿部 紘久 日本実業出版社 1,300 円
- 2) 「ポイントで学ぶ化学英語論文の書き方」  
小野 義正 丸善株式会社 1,300 円
- 3) 「英語科学論文の正しい書き方」  
A. M. Koener 瀬野悍二 訳編 羊土社 2,600 円
- 4) 「理系のための口頭発表術 -聴衆を魅了する20の原則」  
ロバート・R・H・アンホルト 講談社ブルーバックス B1584 880 円
- 5) 「理系のための上手な発表術」  
諏訪邦夫 講談社サイエンティフィック 2,000 円